

平成30年度「サマースクール」報告書

平成30年8月10日（金）に、教職員が養育する小学生のお子さんを対象に、夏休み期間中のサマースクールを実施しました。

今年度は、小学1年生～6年生までのお子さん、19名の参加があり
昨年に負けず劣らずとても楽しい一日となりました。

はじめの会＆簡単なゲーム

はじめの会では、子どもたち一人一人が順番に自己紹介をしました。自分の名前と、好きなもの・好きなことや好きな食べ物などを言いました。

自己紹介の後は、香大っこサポーターの学生提案の室内でできる簡単なゲームをしました。じゃんけん列車・椅子取りゲーム・フルーツバスケットなど、体を動かすゲームを通して、初対面の子どもたちも少しずつ打ち解けていきました。



博物館による児童サマースクールレクチャー「動物の世界」

博物館と農学部 of 松本由樹先生にご協力いただき、様々な種類の動物、またその体のしくみについてお話を聞きました。イラストや模型を用いて、人間と牛の骨の数を数えてその違いについて考えたり、展示室では、実際に生きていた動物のはく製と触れ合いながら話を聞くことで、よりリアルに、また身近に「動物の世界」について想像が膨らんだようでした。



さぬきっずコムシアターによる工作「虹色たまごを作ろう！」

工作では、子育て支援や大人・子どもの交流を深める居場所づくり等の活動をしている「さぬきっずコムシアター」より、講師の百々祐子さんをお招きし、虹色に光るたまご「虹色たまご」をみんなで作りしました。カラーセロファンやアルミテープが柔らかく、切ったり丸めたりする工程に苦戦する子どもたちもいましたが、誰一人途中で投げ出すこともなく、オリジナルの「虹色たまご」を完成させました。中には、2個目3個目とたくさん作る子もいました。



「夏休みの宿題をやっつけよう！」

残っている夏休みの宿題を持ってきて、みんなでやっつけていきました。それぞれに宿題を広げ、漢字ドリルや算数のドリル、ハウセンカの観察絵日記等の宿題をしました。算数が苦手な子は、香大っこサポーターの学生に教わりながら、少しずつ問題を解いていました。

集中して宿題をする子も、いやいやながらする子も、みんなが頑張っている様子が見られました。



みなさまのご協力、本当にありがとうございました。

今回も、多くの方のご協力のもと、無事に開催することができました。

博物館の皆さま・農学部 松本先生・学生食堂の皆さま・さぬきっずコムシアター 百々さま・保健管理センターの皆さま・各部局事務の皆さま・香大っこサポーターの皆さま、そして保護者の皆さま、本当にありがとうございました。